

児童図書研究室だより

2009年12月

「県立図書館とことん活用講座」について

県立図書館では、部門毎に年1回一般向けの講座を開催しています。今年度、児童部門では、脇明子氏を講師に迎え、「近代ファンタジーの誕生～『不思議の国のアリス』が生まれるまで～」の講演を開催しました。脇氏は、翻訳家、ノートルダム清心女子大学教授、「岡山子どもの本の会」代表等、多方面で活躍されていますが、ご多忙の中、快く講師を引き受けてくださいました。

講演会は、11月22日（日）午後2時から、県立図書館2階多目的ホールで行われました。当日は雨天にもかかわらず、60名の参加があり、しかも、参加された方の年齢層は10代から70代までと幅広く、いろいろな方がファンタジーに興味をもっておられることが伺えました。

講演は、まずドイツ・ロマン派の考え方の特徴から、その流れを汲むグリム兄弟について、そしてその影響を多大に受けたアンデルセンの作風について、後半では、グリムやアンデルセンが英訳されて紹介されたときのイギリスの様子やそれらが与えた影響など、体系的に解説され、18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの文学の歴史や、『不思議の国のアリス』に代表される近代ファンタジー誕生の過程が、すっきりと理解できました。

また、『不思議の国のアリス』については、作者ルイス・キャロルの人となりや、アリスのモデルになった子どもについて、さらには親交の深かった作家ジョージ・マクドナルド一家のことなど、写真資料を織り交ぜて分かりやすく解説してくださいました。『不思議の国のアリス』は奇想天外なお話と思われがちですが、実はキャロルは数学者でもあり、計算された構成でお話を作っていること、写真を撮ることが好きで、身近な人たちの写真を多く撮って残していることなど、興味深い話が次から次へと聞けて、あっという間に1時間半が過ぎてしまいました。

『不思議の国のアリス』はもちろんですが、マクドナルドの『お姫さまとゴブリンの物語』『カーディーとお姫さまの物語』なども実際に読むと、その後のファンタジー作品に大きな影響を与えていることが如実に伺えます。今回の講座で紹介された作品や関連資料は、県立図書館ホームページの「資料紹介」にブックリストとして掲載していますので、興味のある方はそちらをご覧ください。

ブックリストには、ファンタジーの研究書も主なものを紹介しています。今回講演して下さった脇明子氏の著書、『ファンタジーの秘密』『魔法ファンタジーの世界』はもちろん、歴史的背景から迫った、安藤聡著『ファンタジーと歴史的危機』も興味深いです。赤木かん子著『かんこのミニミニ世界児童文学史』は軽妙な語り口ながら、作品の書評だけでなく、作者・時代背景についても鋭く切り込んでいて、気軽に読めます。定松正著『英米児童文学の系譜』では歴史的な流れが分かり、平倫子著『ルイス・キャロルの図像学』ではキャロルの人となりや写真資料などが見てもらえます。桂宥子他編著『英米文学の黄金時代』もファンタジーについて多くの部分をさいています。廉岡糸子・近藤真理子著『少女たちの冒険—ヒロインをジェンダーで読む—』は、今回の講座のレジュメの最後にあった「女子どもの目で見ることから発展したのが、児童文学」という言葉からヒントを得て、選んでみました。講座に参加できなかった方にも参考になれば幸いです。

※ブックリストに載ってない資料のお問い合わせ等は児童カウンターへ

児童図書研究室展示について

児童図書研究室の展示は、「岡山ゆかりの子どもの本に関わる人」をテーマに、2人の作家を取り上げています。（1月20日まで）

1人は、八束澄子さん。広島県出身で、日本児童文学賞、野間児童文学賞を受賞されています。『おれたちのドリーム・ファクトリー』など岡山県を舞台とした作品も手掛けていて、今年8月に出版された『明日につづくリズム』は大人の方にもよく読まれています。

もう1人は、備前市出身の小手鞠るいさん。今年『ルウとリンデン 旅とおるすばん』でポローニャ国際児童図書賞を受賞されました。作品は一般書が多いのですが、「川滝かおり」の名で、児童書や詩集を出版されています。『おはなし名画シリーズ』の文も担当するなど、幅広く活動されています。

展示している本は、図書館ホームページの「資料紹介」にブックリストにして掲載しています。



平成21年度ヨムヨム巡回展示について

美作地区の巡回展示を、「ヨムヨム巡回展示in奈義町立図書館」として、10月28日(水)から11月5日(木)まで開催しました。2009年9月出版の研究保存用児童図書とミニ講座で紹介した図書あわせて382冊を展示しました。会期中は約200名の方が展示本を見てくださいました。



ミニ講座は9月に開催した「2008年話題になった本」の講座を巡回用に改変したもので、8名の参加があり、講座が終わってからも、説明した当館司書に、最近の児童書について熱心に質問されるなど、参加者の方の読書推進に対する思いが伝わってきました。



岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30 tel(086)224-1288

E-mail: libnet@libnet.pref.okayama.jp